

早期入学（飛び入学）に関する
自己点検・評価報告書

2026 年 3 月
会津大学

自己点検・評価の状況について

(実施時期、実施体制、評価結果の概要、評価結果の公表方法等)

(1) 実施時期：2026 年 3 月

(2) 実施体制：入学試験委員会

(3) 評価結果の概要

2026 年度入試においては、志願者が 8 名と過去最大であったものの、合格者はいなかった。過年度の入学者の内、卒業生の 7 割強が大学院へ進学し、その半数はオーナーズプログラムを利用して本学の大学院へ進学している。研究を担う個性的な人材を育成するという、本学の早期入学の目的は概ね達成できている。

一方で、本学の早期入学を含めた飛び入学制度については、県内を始め高校における認知が不十分のため、引き続き周知の拡大に取り組む必要がある。

(4) 評価結果の公表方法：会津大学 HP

1 飛び入学の趣旨等について

1-1 飛び入学を実施する趣旨

コンピュータ理工学分野及びその関連分野において、一人ひとりの能力・適性に
応じた大学教育を早期から行い、独創的な研究を担うことができる個性的な人材を
育成することを目的とする。

1-2 飛び入学をする学生に求める資質

コンピュータ理工学の分野において特に優れた資質を有し、コンピュータ理工学
及びその関連分野における研究を志していること。

2 入学者の選考状況について

2-1 飛び入学による受入状況

募集分野（学部・学科名）	募集人数	志願者数	入学者数
コンピュータ分野 （コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科）	若干名	8 名	0 名

2-2 出願に際して大学として工夫していること

(1) 希望者及び保護者に対する説明

県内外で実施される大学説明会において希望者に説明した。

(2) 高校長からの推薦書

出願の際は、原則、高校長からの推薦書の提出を求めることとしている。

(3) 高校への周知・広報

県内外の高校を訪問し、飛び入学制度の周知とともに、本学入試の説明を行った。

2-3 具体的な選考方法及び選考方法について工夫している事項

・選考方法（小論文・面接等）

推薦書、調査書、志願理由書、面接、学力検査の内容を総合して合格者を決定する。

・選考方法について工夫している事項（出題内容・出題意図）

志願理由書・英語・数学等に関して外国人教員を含む複数の教員により、受験生 1 人あたり 30 分程度の口頭試問を行い、本学の修学上必要な学力やモチベーションを確認している。

3 入学後の教育内容及び指導体制について

3-1 教育内容の特色

(1) 課外プロジェクト教育

開学以来、入学初年度から最先端の研究・技術動向や成果に触れて目的意識を持ち、基礎教育に戻る教育方法である「トップダウン教育」の考え方を体現している「課外プロジェクト」という自由科目を設け、大きな成果を上げてきた。

課外プロジェクトは半期 1 単位の自由科目であり、学年は 1 年生から自分で自由に選んだテーマについて自分のペースで研究の一端に参加できる。

課外プロジェクトのテーマは講義への高い動機づけになるとともに卒論のテーマ、大学院での研究テーマ、企業との共同研究開発につながる例も多い。

(2) 会津 IT 日新館

多様化する現代社会で活躍していくために必要な「イノベーション」に挑戦する起業家精神と技術力を兼ね備えた若手人材を育成するため、ベンチャー企業創業者や自治体職員、国内有力企業の社員から直接指導を受けながら演習を行う。

(3) 英語教育

コンピュータ理工学関連分野では必須である英語能力の向上のために、語学研究センターの教員による英語教育や教員の約 4 割を占める外国人による専門科目の講義、英語による卒業論文執筆の指導を行う。卒業論文は英語で作成し、英語で発表することを義務づけている。

(4) コンピュータ利用環境

ワークステーションを 24 時間自由に利用できる環境を整えている。

3-2 指導体制の特色

授業の理解補助及び助言を行うための修学支援室を設置し、チューデントアシスタント、ティーチングアシスタントを配置することで、主に入学後間もない学部1年生に対して授業等の理解補助及び助言等を行う。

さらに、課外プロジェクトの参加等により自分の興味のあるテーマを見いだした学生に対し、教員が学生の学習面に対して相談・助言等を行っている。

この結果、国際大学対抗プログラミングコンテストにおいて、飛び入学生1名が参加したチームが、会津大学として初めて、国内の大学として6番目となる世界大会に出場したうえ、100チーム中49位（日本の大学では東京大学に次いで2位）の成績を上げた。なお、2016年大会、2017年大会及び2020大会（新型コロナウイルス感染症の影響により2021年に実施）においても本学チームが世界大会出場を果たしている。

また、生活面についてはクラス担任及び学生課の職員を中心に、生活状況を適宜確認し、相談・助言等を行っている。

3-3 学生の在学状況

入学年度	入学者数	在学者数(4月末日見込み)	転学者等
平成18年度	1人	0人	0人
平成19年度	1人	0人	0人
平成20年度	1人	0人	0人
平成21年度	0人	0人	0人
平成22年度	0人	0人	0人
平成23年度	0人	0人	0人
平成24年度	1人	0人	0人
平成25年度	0人	0人	0人
平成26年度	0人	0人	0人
平成27年度	0人	0人	0人
平成28年度	2人	0人	0人
平成29年度	2人	0人	0人
平成30年度	0人	0人	0人
平成31年度	1人	0人	0人
2020年度	0人	0人	0人
2021年度	0人	0人	0人
2022年度	0人	0人	0人
2023年度	0人	0人	0人
2024年度	2人	2人	0人
2025年度	0人	0人	0人
2026年度	0人	0人	0人

4 大学と高等学校等との連携に関する取組状況について（公開講座、科目等履修生など）

(1) 福島県立会津学鳳高等学校との高大連携協定に基づく事業の実施

ア 会津学鳳高校生の特別聴講学生としての受け入れ

2025 年度はのべ 3 名を受け入れた。

イ 会津学鳳高校生・中学生に対する特別授業の実施

2025 年度は、4 回実施した。

(2) 県内外の高校に対する出前講義の実施

2025 年度は、35 回実施した。

(3) パソコン甲子園の開催

2025 年度は、515 チーム 1,186 名の参加申し込みがあり、本選には 40 チーム 87 名が参加した。